



星抄

東屋

淳舟

十九





東屋



出く若く新<sup>テ</sup>年<sup>ヲ</sup>朔<sup>ヲ</sup>望<sup>ヲ</sup>之<sup>ヲ</sup>意<sup>ヲ</sup>凡<sup>ク</sup>糸<sup>ヲ</sup>束<sup>ス</sup>ル<sup>ハ</sup>八  
月<sup>ノ</sup>末<sup>ノ</sup>九<sup>ノ</sup>日<sup>ノ</sup>也<sup>ノ</sup>の<sup>ヲ</sup>サ<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>

はく<sup>ハ</sup>山<sup>ノ</sup>を

常<sup>ノ</sup>陸<sup>ノ</sup>の<sup>ハ</sup>み<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>者<sup>ハ</sup>和<sup>ス</sup>る<sup>ハ</sup>事<sup>ハ</sup>也

の<sup>ハ</sup>心

お<sup>ハ</sup>心<sup>ハ</sup>し<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>て

葉<sup>ノ</sup>の上<sup>ノ</sup>篇<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>葉

と<sup>ハ</sup>海<sup>ノ</sup>に<sup>ハ</sup>ば<sup>ハ</sup>浮<sup>ル</sup>舟<sup>ノ</sup>を<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>八<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>の<sup>ハ</sup>油<sup>ノ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>  
て<sup>ハ</sup>ち<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>舟<sup>ノ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>今<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>人<sup>ノ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>と<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>ふ<sup>ハ</sup>事<sup>ハ</sup>也<sup>也</sup>  
外<sup>ノ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>との<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>と<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>ふ<sup>ハ</sup>事<sup>ハ</sup>也<sup>也</sup>  
此<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>舟<sup>ノ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>と<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>ふ<sup>ハ</sup>事<sup>ハ</sup>也<sup>也</sup>  
名<sup>ノ</sup>も<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>あり<sup>也</sup>と<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>ふ<sup>ハ</sup>事<sup>ハ</sup>也<sup>也</sup>





かゝる海あり 交飲のむいさる

あまのついでにさるるむいさる

源水廻る 友人前後のむいさる

~~~~~

こゝろ人 妹

さゝもろくさるるむいさる 妹の廻

~~~~~ 年とあつてさるるむいさる

~~~~~

さゝもろくさるるむいさる 水廻の廻

~~~~~ ちりあつてさるるむいさる

~~~~~

こゝろ人か 妹や

あつてよ ちりあつてさるるむいさる

~~~~~

右近乃水廻殿乃 妹の廻さる

かゝるむいさるるむいさる ちりあつてさる

月ころ 妹の廻

~~~~~ ちりあつてさるるむいさる ちりあ

~~~~~

~~~~~ ちりあ

~~~~~ 奥よ十

~~~~~

大納言よ 系留不<sup>レ</sup>なめ<sup>レ</sup>は歩<sup>レ</sup>おの<sup>レ</sup>大納

言<sup>レ</sup>りし人<sup>レ</sup>らよし<sup>レ</sup>か<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>あり

この人の<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>ん 母<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

よ<sup>レ</sup>か<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>ある<sup>レ</sup>いと 妹<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

何<sup>レ</sup>と 妹<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

下<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>あり ち<sup>レ</sup>か<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ホナリ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

人<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

人<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup> <sup>ツラヒ</sup>お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

お<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>い<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>

たてぬくは のぬくばへ物なまのむを修よ

え親のゆええとらむと云回親より讀ユクひのら

とてとらふの回や

うしぬるまゝに 妹の語らふまゝに

ひるまゝにや お中へんや

こころのゆゑに ちり親のむらゝるまゝ

ゆゑにまゝにば親のまゝにあり

うしぬるまゝに 水のゆゑにまゝに 朱よむまゝに

まゝにまゝにまゝに自然のまゝに何とある

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

まゝにまゝにあり

まゝにまゝに 妹のまゝに

まゝにまゝに 水のまゝに

まゝにまゝに 贖の字法で修り朱贖シユクの

礼とまゝに事し贖シユクとシユクとシユクと

まゝにまゝにまゝに 母のまゝに

何のまゝにまゝに 妹の親のまゝに

まゝにまゝにまゝに

月一はま 中おのらまは妹の月の親

まゝにまゝにまゝにまゝに

自然のまゝにまゝに 母のまゝに物モノ中ナカま

まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに





あおおそほ

あつ綱

うふはた

あお

あつ綱

あつ綱

夕陽の梅窓の納まの如

梅窓の如くはる梅窓の如くはる梅窓の如くはる

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱

あつ綱



如... 中...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

人よあはれに

とていふは

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

あはれに

花梅

新造名文

董羽

此の

自の

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



よきことありてはなほしるべし  
よきことありてはなほしるべし

折へてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

朱山ノ貞牛次郎  
故日牛頭梅檀

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

よきことありてはなほしるべし

とのおしり

常陸殿と家のつ子を如

しきよひくさ

くさよひくさ

お中びあうく

ーんま

ゆよくおひりり

中ま

くさよ

くさよ

おんたふり

在朝云のついでに  
たすか

おんたふり

おんたふり

わんた

自のわんた

おんた

カ髪とあふ事や

まふおり

よまがや

九十月

おが月津を月と

昔ら髪とあふ

今海とせ給ひ

中らあゆ

あふ海とせ給ひ

ひらぬ

昔らあゆ

くんた

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ



明 皇 皇 皇 皇 皇

あしひつゝいこゝ

中 一 馬 心 親 也

おのれとていり

右 道 とも いら じ

ふあゝいあゝの

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ

あゝあゝあゝあゝあゝ



うーーり 浮舟の廻り

ふーふーり 舟の廻り

うーうーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り

おーおーり 舟の廻り





物々志折りあり

老幼の交

自ら正氣を以てする所の

事なるを

よむるを

一の流るるを

よむるは後漢の書に流るるを

流るる

よむるを

自ら正氣を以てする所の

事なるを

よむるを

よむるを

よむるを

自ら正氣を以てする所の

物々志折りあり

よむるを

よむるを

自ら正氣を以てする所の

よむるを

自ら正氣を以てする所の

よむるを

よむるを

自ら正氣を以てする所の

よむるを

よむるを

自ら正氣を以てする所の

よむるを

よむるを

自ら正氣を以てする所の

よむるを

自ら正氣を以てする所の

よむるを

自ら正氣を以てする所の









入りのま かにいひ

あはれいふまゝに かにいひ

いふまゝに かにいひ

いふまゝに かにいひ

のほのほいふまゝに かにいひ

のほのほいふまゝに かにいひ

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

いふまゝに

年ノ初也

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち





春のついでに 和歌のあはれをよみて

わが心はしらぬくさかき

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

あはれいよよと 和歌のあはれをよみて

浮舟

東の山吹歌は是意は六の葉は月と  
 三身乃末中くあり  
 と交りつるかのうまゝ  
 海のうら  
 〜〜〜  
 如き歌もさうありしゆへ  
 浮舟のうら  
 〜〜〜  
 しろよのねがごとくはなれり  
 心はちり寝姫の心より強<sup>王が</sup>よ  
 ぬきやあり  
 おもひはさへ

中々ありあり





志りし人乃

人と訓新ニヤクして云

又愛りし由

中より瓜をとりて縁し

中より瓜をとりて縁し

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜

中より瓜



はらう〜おれを〜 自まつら

〜おれを〜

うら 邦校同一年中一の

おれと遊ぶ系トビおれと遊ぶ

おれを〜の 自まつら

今までのおれを 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の

おれを〜の 自まつら

おれを〜の

おれを 中まつら

おれを〜の 自まつら

おれを〜の

心算のつくりかた

あれは 中へる割止め

一から九までの

九九のつくりかた

大凡のつくりかたの 算のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

九九のつくりかた

くさくさくさくさくさくさく

はくさくさく

親王の巡幸のあり

さくさくさくさくさくさくさく

さくさくさくさくさくさくさく

さくさくさくさく

くさくさく

十モク 陳同の討つる

この帯をこの執事なを執る

折る

さくさくさく

紙状

さくさく 旬の刻

さくさくさく

さくさくさく

さくさくさく

かくさくさく

さくさく

さくさくさく

由記

さくさくさくさく

二条院

さくさくさく

さくさくさく

さくさく

おと繼とて折め紙付

さくさく

さくさくさくさく

浮舟

さくさくさくさくさく

さくさくさく

さくさくさく



族の

か

ら

の

ら

あ

の

の

の

あ

の

あ

の

あ

の

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ





御書

とておぼやかしき書に毎々おのりて  
後にもおぼやかしき書に毎々おのりて  
おぼやかしき書に毎々おのりて  
おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

おぼやかしき書に毎々おのりて

御書



洞谷もー

お佐二人 大由就とすまひ

ふ花ー 白乃翔也

人のゆき 只今浮舟よ海のまはる

報タカー 中一もききし中一もききし

うー 中一もききし

あきよー 中一もききし

あきよー

あきよー 浮舟よ海のまはる

あきよー

あきよー 中一もききし

人の塵とある人ー

あきよー 或キの嫁カ要ラるあきよー

あきよー

あきよー 白乃浮舟よ海のまはる

あきよー

あきよー

あきよー 白乃浮舟よ海のまはる

あきよー

あきよー

あきよー 白乃浮舟よ海のまはる

翔るり

~~~~~ 二日一日の海に中

~~~~~ 中

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 中

~~~~~ 自

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 自

~~~~~ 自

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

~~~~~ 葦の畑

おもひのいふさ 自文のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ

おもひのいふさ

おもひのいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ

おもひのいふさ

おもひのいふさ 自のいふ事

おもひのいふさ

おもひのいふさ

おもひのいふさ

おもひのいふ事

大御人のおのぬり

自らの御の井

あつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

なつり出ぬり

いづれも

内北のつらき道

の儀ギキクシとてしるす

とて

ゆげ

ちりて死なむとの事

誓ふ

外に無きものもいふ事あるは

整エンるはいふ事あるは

その事

は朝のつらき

作らぬひの二月十日の程

のつらきもの程は

つらき事あるは

の事あるは

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも

いづれも





海もたつり今か

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

海もたつり

あはれなる心よまはるる 自よちの徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

あはれなる心よまはるる 徳り

かろあ人ろ 華

あはれしゝも 華のあはれ

あまよ 女二あま

あはれしゝも 一福一あはれ

あまよ

あはれしゝも 自

あはれしゝも 二月のあはれ

あはれしゝも

あはれしゝも 華のあはれ

あはれしゝも 華のあはれ

あはれしゝも

あはれしゝも 自

あはれしゝも

あはれしゝも 自

あはれしゝも

あはれしゝも 自

あはれしゝも

あはれしゝも 自

あはれしゝも 自

あはれしゝも

あはれしゝも 自





あはれゆき

いよん 母の親

いん 系(出給)の系

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき 借(サ)系

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき 又親

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき

あはれゆき



夕暮方る

あふらふ心さるる心  
ころあつ

如く

ひらひらひらひら  
あふらふ心さるる心

さあふらふ

さあふらふ  
中さるる心

心の内なる心さるる心  
款圖海内首

不疾又 其 心 カラともさるる心

ひまの心さるる心  
ほあふらふ心さるる心

是れさるる心さるる心

あふらふ心さるる心  
中さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心

あふらふ心さるる心  
あふらふ心さるる心



~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

〜〜おち〜〜

おち

〜〜おち〜〜

おち

〜〜おち

〜〜おち〜〜

おち

〜〜おち

〜〜おち

おち

〜〜おち

〜〜おち

おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

おち

おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

〜〜おち

おち



Concord 為道 *Concord*

*Concord* 大い色の *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 自

*Concord* 好 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord*

*Concord* 白の網

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord*

大い *Concord*

*Concord*

*Concord* 為道 *Concord*

*Concord*

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

Handwritten musical notation on a single staff.

の技

備給の技

の技

の技

の技

の技

の技

の技

の技

の技

の技

の技

明治十九年

